

SSKO

膠原 栃木版

No.135

◎編集 全国膠原病友の会

◎編集責任者 玉木朝子

〒321-0113 宇都宮市砂田町461

☎028-656-2386

☎028-656-7260

安足地区医療講演・相談会のお知らせ

桜の季節が過ぎ、新緑が眩しい季節になってまいりました。毎日の寒暖差についてゆけず、体調を崩してはおられないでしょうか。私たちにとっては大敵の紫外線も厳しくなっています。くれぐれも気をつけて過ごしてください。

さて、今年は6月と10月に医療講演・相談会を開催することに致しました。やはり、県内隅々までとはいきませんが、患者の皆様が身体に負担をかけずに会合に出られるよう各地区での講演会を増やせればと考えております。

6月は安足地区、10月は県南地区の予定です。皆様とお会いできますことを楽しみに致しております。

❖日時 令和7年6月21日(土) 10時より

❖場所 安足健康福祉センター
足利市真砂町1-1 (☎0284-41-5897)

❖開会 (10時)

❖講演

自治医科大学 内科学講座 アレルギー膠原病学部門 助教 中村 潤先生
「膠原病の最新の治療と患者家族の向き合い方について」

❖医療相談・生活相談会 (11時30分～12時30分)

医療相談 (座談会方式)
中村 潤先生

❖生活相談 (個別)

獨協医科大学 地域連携・患者サポートセンター
医療福祉相談部門
医療ソーシャルワーカー 橋本富美子先生
全国膠原病友の会栃木県支部
相談役 熊倉みつ子先生

【会場地図】



全国膠原病友の会栃木県支部 令和6年度決算報告書

自令和6年4月1日至令和7年3月31日

[収入の部]

項目	金額	備考
前年度繰越金	312,675	
会費	75,600	@3600×21名
療養生活環境整備委託金	60,000	
特定疾患相談指導委託金	210,000	
共同募金会	30,000	
寄付金	336,371	県職労、こくみん共済coop、他
その他の収入	200,036	利子、膠原病友の会を支援する会
合計	1,224,682	

[支出の部]

項目	金額	備考
相談会費	200,881	講師謝金・他
印刷費	429,000	機関誌膠原栃木132号～134号(県委託金使用)
事務費	27,552	事務用品代
通信費	36,000	電話代
発送費	92,597	機関誌・相談会通知発送他(共同募金会寄付金使用)
活動交通費	44,812	渉外費、旅費他
会議費	20,186	会場費他
慶弔費	36,500	香典他
事務所維持費	18,630	電気代
本部納入会費	37,800	@1,800×21名
事務所設備費	12,148	プリンター
障定刊分担金	10,000	機関誌132号～134号発送分
来年度繰越金	258,576	
合計	1,224,682	

上記のとおり相違ありません。

令和7年4月10日

栃木県宇都宮市砂田町461
全国膠原病友の会栃木県支部
支部長 玉木朝子

全国膠原病友の会栃木県支部 令和7年度予算書

自令和7年4月1日至令和8年3月31日

[収入の部]

項目	金額	備考
前年度繰越金	258,576	
会費	144,000	@ 3600×40名
療養生活環境整備委託金	60,000	
特定疾患相談指導委託金	180,000	
共同募金会	50,000	
寄付金	300,000	
その他の収入	200,100	利子、膠原病友の会を支援する会
合計	1,192,676	

[支出の部]

項目	金額	備考
相談会開催費	280,000	医療相談会、研修会他
印刷費	400,000	機関誌膠原栃木、No.135～137号他（県委託金使用）
事務費	20,000	事務用品代
通信費	36,000	電話代
発送費	260,000	機関誌・相談会患者通知発送（共同募金会寄付金使用）
活動交通費	50,000	旅費他
会議費	20,000	会場費他
慶弔費	10,000	香典他
事務所維持費	20,000	電気代他
本部納入会費	72,000	40名（@ 1800×40名）
事務所設備費	10,000	
障定刊分担金	10,000	機関誌発送分
予備費	4,676	
合計	1,192,676	

上記のとおり相違ありません。

令和7年4月10日

栃木県宇都宮市砂田町 461
全国膠原病友の会栃木県支部
支部長 玉木朝子

全国膠原病友の会栃木県支部

令和6年度活動報告

宇都宮市砂田町461
 全国膠原病友の会栃木県支部
 支部長 玉木 朝子
 [R6. 4.1 ~ R7. 3.31]

開催日	内容	会場
令和6年		
4月8日	役員会	事務局
4月30日	膠原栃木No.132 発送	事務局
8月17日	役員会	事務局
8月19日	膠原栃木No.133 発送	事務局
9月21日	なんびょうサポートとちぎのつどい	とちぎ男女参画センター
10月6日	医療相談会	大田原東公民館
11月6日	こくみん共済coopへ寄付依頼	栃木推進本部
12月12日	膠原栃木No.134 発送	事務局
12月23日	県職労より寄付金贈呈	事務局
令和7年		
1月19日	難病連研修会	ホテルニューイタヤ
1月19日	役員会	事務局

全国膠原病友の会栃木県支部

令和7年度活動計画

宇都宮市砂田町461
 全国膠原病友の会栃木県支部
 支部長 玉木 朝子
 [R7. 4.1 ~ R8. 3.31]

開催日	内容	会場
令和7年		
4月	役員会	事務局
5月	機関誌発行	事務局
6月	医療相談会	安足健康福祉センター
9月	機関誌発行	事務局
9月	役員会	事務局
10月	医療相談会	県南健康福祉センター
11月	バザー	砂田秋祭り出店予定
令和8年		
1月	難病連研修会	未定
1月	機関誌発行	事務局
3月	役員会	事務局

支援する会行事協力
 難病連行事協力

◆ 全国膠原病友の会 栃木県支部を支援する会 ◆

令和6年度決算報告

自令和6年4月1日
至令和7年3月31日

〈収入の部〉

項目	金額	備考
前年度繰越金	1,747,794	
その他の	692	利子
合計	1,748,486	

〈支出の部〉

項目	金額	備考
支部助成金	200,000	医療相談会助成
事務費	30,550	ホームページ管理作業料他
次年度繰越金	1,517,936	
合計	1,748,486	

令和7年度予算案

自令和7年4月1日
至令和8年3月31日

〈収入の部〉

項目	金額	備考
前年度繰越金	1,517,936	
事業費	50,000	バザー売上他
その他の	700	利子他
合計	1,568,636	

〈支出の部〉

項目	金額	備考
支部助成金	200,000	医療相談会助成
事務費	30,000	ホームページ管理作業料他
事業費	10,000	バザー経費
予備費	1,328,636	
合計	1,568,636	

宇都宮市清住 3-1-14
全国膠原病友の会
栃木県支部を支援する会
会長 藤田 勝春

第11回 リウマチ教室

日時 2025年5月31日（土）14:00～16:00

会場 獨協医科大学 関湊記念ホール

参加費 無料（申込不要です）

駐車場 外来駐車場（無料駐車券をお渡しします）

講演Ⅰ 「関節リウマチの診療ガイドラインについて」

獨協医科大学病院 リウマチセンター 吉田 雄飛 先生

講演Ⅱ 「関節リウマチの方のお食事と調理について」

①関節リウマチの方のお食事について

獨協医科大学病院 栄養部 神子谷 朋美 先生

②関節に負担をかけない調理動作の工夫

獨協医科大学作業療法士 内藤 沙弥佳 先生

講演Ⅲ 「患者さんの体験談」

体操 「家庭でできるリウマチ体操」

獨協医科大学病院 リハビリテーション科 広瀬 知宏 先生



関節リウマチの理解を深め、より良い療養を行っていただくために「リウマチ教室」を開催します。

当院通院中の患者さん、ご家族をはじめ、どなたでも参加できます。予約は不要ですのでお気軽にご参加ください。

【共 催】獨協医科大学病院 リウマチセンター / エーザイ株式会社

【協 力】獨協医科大学病院 看護部・リハビリテーション科・薬剤部・栄養部

【問合せ】獨協医科大学病院 リウマチセンター TEL 0282-87-2496（平日9時～17時）担当 北村

バザーのご連絡

毎年、皆様にご協力をいただきながら春に実施しているバザーですが、今年は労働者福祉協議会主催の「福祉まつり」の予定がありません。ただ、相談会の開催や機関誌の発送のことを考えますと、バザーの収入はかけがえのないものです。窮余の策として事務局のある砂田町の公民館で開催させていただくことになりました。11月9日の予定ですので、詳細は次号でお知らせしたいと考えております。荷物等ありましたら、ぜひお願いいたします。

ご寄附御礼

満川博美様	鹿沼市
林律子様	足利市
松村典子様	静岡県菊川市
福田マサ子様	日光市
岩本治美様	鹿沼市
加藤則子様	那須烏山市
矢板橋チヅ子様	市貝町
古澤栄子様	宇都宮市
池田光代様	矢板市
栃木リウマチ科クリニック	篠原聡先生
自治労栃木県本部様	
佐藤俣子様	壬生町
匿名様	



編集後記

全国膠原病友の会森代表を悼んで

私たちの全国組織「全国膠原病友の会」の森代表が去る2月21日亡くられました。滋賀支部、関西ブロック、全国組織の代表として長年頑張ってこられた姿が脳裏に浮かびます。

森さんとは特に、患者会とはどうあるべきか！

誰のための難病行政なのかなど、いろいろ話し合う機会が多くあり、連絡を取り合いながら、行政機関と掛け合った思い出が鮮明にあります。日本難病・疾病団体協議会の代表になられた時も、患者を代表しての立場から「少ししんどいねん」と笑いながら動いておられました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

患者会の創成期を担われた方々の訃報が最近多く届きます。栃木県支部も今年で46年目を迎えますが、必死の思いで支部を立ち上げた頃のことを忘れることなく、そして現在の状況を把握しながら進んでいきたいと考えております。（玉木朝子）